

Japanese-German Graduate Externship 日独共同大学院プログラムニュースレター

2012(平成24)年3月発行

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学物質科学国際研究センター事務室

日独共同大学院プログラム HP <http://irtg.rcms.nagoya-u.ac.jp/>



日独交流150周年記念 特別企画を開催

平成23年度も日独共同大学院プログラムの共同セミナーが、ミュンスターと名古屋の双方で開催されました。第12回日独共同セミナーが名古屋大学で開催された折には、日独交流150周年の記念特別企画として、「歌舞伎：入門—化粧・着付け・踊り」が催され、共同セミナーのために来日していたミュンスター大学の教員や学生、また名古屋大学に留学している外国人学生や教職員、そして大阪・神戸 ドイツ連邦共和国総領事館より Dr. Alexander Olbrich 総領事もご出席され、特別企画にふさわしい、普通ではみられないプロの舞踊家による歌舞伎の舞台裏を楽しみました。



日独交流150周年
Jahre Freundschaft
Deutschland-Japan

JSPS - DFG

The 12th Joint Seminar - University of Münster and Nagoya University - 第12回ミュンスター大学・名古屋大学共同セミナー



セミナー

第11回日独共同セミナー

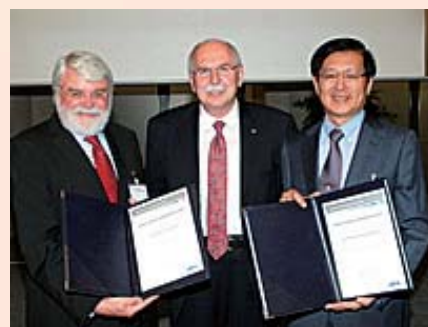
開催日時：2011年5月9・10日 (ミュンスター大学にて)

第12回日独共同セミナー

開催日時：2011年10月3・4日 (名古屋大学にて)

平成23年度の派遣実績

派遣学生 11名 教員派遣 8名 ※セミナー派遣含む



巽・Erker 両教授、
2011年ザイボルト賞を受賞!

(平成23年5月20日：ベルリンにて)



平成23年度 派遣学生

氏名 中塚宏志
期間 平成23年3月26日～平成23年7月3日
派遣先研究室 Prof. Gerhard Erker
研究課題 触媒的不斉合成に関する研究
 Study on Catalytic Asymmetric Synthesis

氏名 橋本享昌
期間 平成23年5月29日～平成23年11月6日
派遣先研究室 Prof. Frank Glorius
研究課題 四座カルベン配位子を有する鉄錯体の合成および触媒反応への応用
 Synthesis of Iron Complexes Having Tetradentate N-heterocyclic Carbene Ligands and Their Application to Catalytic Reactions

氏名 名倉和彦
期間 平成23年7月3日～平成23年10月2日
派遣先研究室 Prof. Frank Glorius
研究課題 N-ヘテロサイクリックカルベンを含む機能性 π 共役分子の創製
 Synthesis of Functional π -Conjugated Molecules Containing N-heterocyclic Carbenes

氏名 関 知昭
期間 平成23年7月16日～平成23年10月16日
派遣先研究室 Prof. Bernhard Wünsch
研究課題 アゼパンアルカロイド類の合成研究
 Synthetic Study on Azepane Alkaloids

氏名 佐道祐貴
期間 平成23年7月23日～平成23年10月2日
派遣先研究室 Prof. Bart-Jan Ravoo
研究課題 金属内包フラーレンの包摂分子の合成
 Synthesis of Metallofullerenes' Receptor

氏名 白瀧千夏子
期間 平成23年9月16日～平成23年12月31日
派遣先研究室 Prof. Bernhard Wünsch
研究課題 NR2B サブユニットに選択的に作用するNMDA 受容体阻害剤の活性評価法の開発
 Development of an Assay for Determination of the Activity of NR2B Selective NMDA Receptor Antagonists



平成23年度 派遣教員

氏名 斉藤尚平 (助教)
期間 平成23年7月4日～平成23年7月10日

氏名 瀬川泰知 (助教)
期間 平成23年8月24日～平成23年8月30日

平成23年度 セミナー派遣学生 (第11回日独共同セミナー：ドイツ)

氏名 寺田玲季
発表タイトル Model Synthesis of [1:3] Site-Differentiated [4Fe-4S] Clusters in Organisms

氏名 三吉康仁
発表タイトル Electrochemical Band-filling Control in Crystalline Thin Films of Porphyrazine Compounds

氏名 関 知昭
発表タイトル Catalytic Asymmetric Synthesis of α -Alkenyl-substituted Cyclic Ethers

氏名 酒井康成
発表タイトル IV-SFG studies on alkane/ionic liquid interfaces

氏名 徐 甲坤
発表タイトル Site-Specific Mutagenesis Approach for Constructing Biocatalyst using Myoglobin Scaffold for Synthesis of Indigo from Indole



Japanese-German Graduate Externship

日独共同大学院プログラムニュースレター

平成23年度 受入学生

氏名 Christoph Glotzbach
期間 平成23年4月26日～平成23年10月1日
受入教員 山口茂弘教授

氏名 Zhaoyang Zeng
期間 平成23年5月13日～平成23年11月1日
受入教員 阿波賀邦夫教授

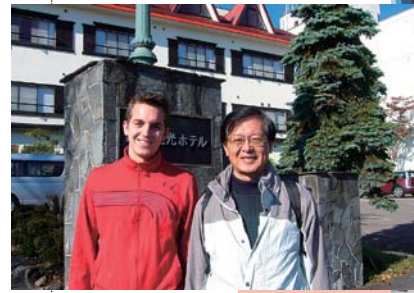
氏名 Christoph Grohmann
期間 平成23年9月30日～平成24年3月30日
受入教員 巽和行教授

受入教員 Lilia Lohrey
期間 平成23年9月30日～平成24年3月30日
受入教員 伊丹健一郎教授

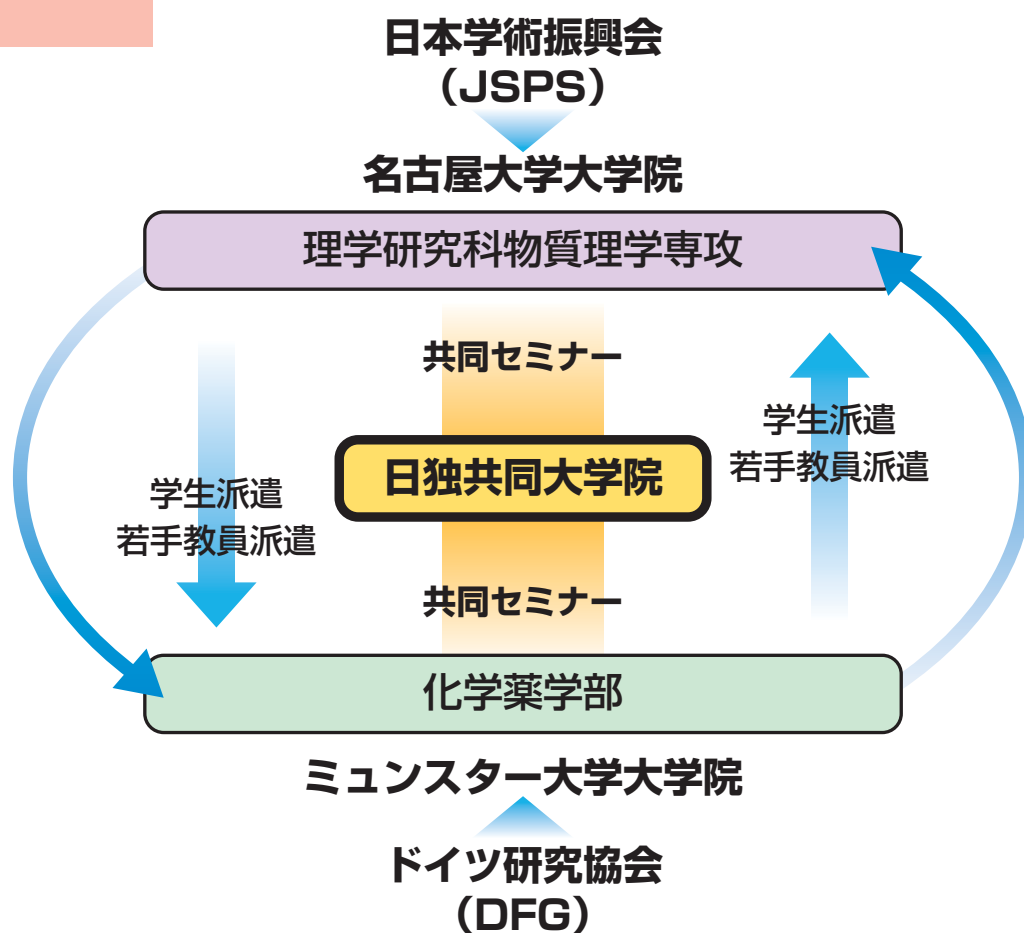
氏名 Marcel Harhausen
期間 平成23年10月2日～平成23年11月3日
受入教員 山口茂弘教授

氏名 Adrian Schulte
期間 平成23年10月1日～平成24年1月30日
受入教員 齊藤進准教授

氏名 Anna Junker
期間 平成24年2月1日～平成24年6月25日
受入教員 伊丹健一郎教授



このプログラムの仕組み



Eugen und Ilse Seibold Prize 2011を受賞した巽和行教授と Gerhard Erker 教授の授賞式が5月20日にベルリンで執り行われました。これは、2年に1度日本とドイツの学術発展に貢献した研究者に贈られる賞です。ミュンスターに滞在中の名古屋大学から派遣されている学生や、ミュンスター大学の学生も授賞式に出席し、厳かな式典を終えて記念の写真におさまりました。



(写真：巽教授、Erker 教授、日独の学生他、左端、小林誠博士；2008年ノーベル賞受賞者、左から2人目 Dr. Klaus von Klitzing；1985年ノーベル賞受賞者、右から5人目 DFG 会長；Dr. Matthias Kleiner)